



エッジAIのIdein、“今後急成長が見込まれるスタートアップ”として東京都の「ディープ・エコシステム」支援対象企業に採択 エッジAIのプラットフォーマーとしてユニコーン級の成長を目指します

国内シェア2年連続No.1のエッジAIプラットフォーム「Actcast」を運営するIdein株式会社（読み：イデイン、本社：東京都千代田区、代表取締役：中村 晃一）は、東京都が運営する「スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム」の取り組みにおいて「ディープ・エコシステム」の支援対象企業に採択されました。当社はこの選定により、より成長を加速させ、国内外の幅広い企業の課題解決に向けエッジAIのテクノロジーを通じて貢献してまいります。



■「ディープ・エコシステム」の概要

ディープ・エコシステムとは、海外展開を視野に入れ、今後急成長が見込まれるスタートアップを選抜の上で集中的に支援し、ユニコーン級への成長を後押しする東京コンソーシアム独自の取り組みです。選定された企業に対して、国内のみならず海外展開を視野に入れ、国内外のベンチャーキャピタル・機関投資家や、先輩スタートアップなど、東京コンソーシアムのネットワークを活かした多様なメンバーによる支援を実施しています。



Ideinは、この支援を通じて、国内外のベンチャーキャピタル・機関投資家や先輩スタートアップなどのネットワークを活用し、世界中のIoTデバイスと連携することで「実世界のあらゆる情報をソフトウェアで扱えるようにする」という当社ミッションの実現を加速させていきます。

■「スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム」の概要

「次々と新しい産業が生まれる、世界一のスタートアップ都市・東京」の実現に向けて、東京都が運営・推進しています。

- 東京にスタートアップ・エコシステムのグローバル拠点都市としての地位を確立させることで、国際競争力の強化、スタートアップの創出や成長、ひいては東京の経済の持続的な発展を実現し、また、スタートアップ・エコシステムによるイノベーションを社会に実装し、地域に還元する活動を推進することを目的として、令和2年1月に設立されました
- 企業、経済団体、大学、研究機関、ベンチャーキャピタル、自治体等により構成されています
- 公式ウェブサイト：<https://www.ecosystem.metro.tokyo.lg.jp>

「国内シェアNo.1」について

デロイト トーマツ ミック経済研究所 『エッジAIコンピューティング市場の実態と将来展望 2022年度版』 (<https://mic-r.co.jp/m/02530/>) 「エッジAIプラットフォームのベンダシェア（台数）」の調査結果に基づく

■ Idein株式会社 概要

安価な汎用デバイス上での深層学習推論の高速化を実現した、世界にも類を見ない高い技術力を有するスタートアップです。当該技術を用いたエッジAIによる現場データ収集プラットフォーム「Actcast」を開発し、実用的なAI/IoTシステムを開発・導入・活用する開発者及び事業会社へのサービス提供を行っております。今後もパートナー企業と共に、AI/IoTシステムの普及に貢献してまいります。「実世界のあらゆる情報をソフトウェアで扱えるようにする」をミッション



に掲げ、日本国内では経済産業省 J-Startup選定をはじめ、日本経済新聞社 NEXTユニコーン企業にも選ばれています。英Arm社のAI Partnerや、米NVIDIA社のInception Program Partnerになるなど、海外でも高く評価いただいています。

【設立日】 2015年4月7日

【代表者】 代表取締役 中村 晃一

【所在地】 東京都千代田区神田神保町1-4-13

【事業内容】 Actcast事業（エッジAIプラットフォームの開発・運営）、共同研究開発事業（次世代自動車開発での協業等）

コーポレートサイト：<https://www.idein.jp>

本件に関するお問い合わせ

Idein株式会社 広報室 高橋（メールアドレス：pr@idein.jp）